

# 議会広報特別委員会

日 時	令和 6年12月 6日 (金) 開会中	10時28分 開会 11時07分 閉会
場 所	相良庁舎 4階 第3会議室	
出席議員	(委員長) 8番 種茂和男	(副委員長) 3番 絹村智昭
	7番 松下定弘	6番 木村正利
	2番 谷口恵世	1番 石山和生
欠席議員		
法第105条出席		
事務局	書記 中田 綾	書記 八木裕介
説明員		

署名 \_\_\_\_\_ 議会広報特別委員長

[午前 10時28分 開会]

---

開会の宣告

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

ただいまから、議会広報特別委員会を開きたいと思います。

---

2 事件 (1) 牧之原市議会だより「かけはし」第77号について

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

かけはしの第77号について、編集スケジュール等を事務局のほうでお願いしたいと思えます。

○事務局書記（八木裕介君）

では、事務局のほうより、議会だよりかけはし第77号について、編集スケジュールとページ割を説明をさせていただきます。

まず初めに、編集スケジュールについてお話をさせていただきますので、今日の議会広報特別委員会のフォルダの中の編集スケジュール（第77号）をお開きください。

まず、第1回目が12月6日、本日になりますが、第1回開催します。ここで編集スケジュールの決定とページ構成の検討をさせていただきます。

次が12月20日、金曜日、本会議最終日に第2回議会広報特別委員会を開催しまして、ページ構成の最終決定となります。

2ページ目に行きまして、1月8日の水曜日、第3回議会広報特別委員会を開催しまして、こちらでワード原稿の編集を行います。

次が、1月17日に第4回の議会広報特別委員会を全協終了後に行いまして、こちらでワード原稿の編集と、あとゲラ刷り原稿の1回目が届きますので、そちらの確認になります。

続きまして、1月28日に第5回議会広報特別委員会を9時から、ワード原稿の編集とゲラ刷りの原稿2回目が来ますので、そちらの確認になります。

続きは正副委員長のみになりますが、2月4日に正副の最終確認を行いまして、2月13日に納品、2月15日発行となります。

こちらの予定でご都合の悪い委員さんはいらっしゃいますでしょうか。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

よろしいですか。

[「なし」と言う者あり]

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

次に、ページ割について。

○事務局書記（八木裕介君）

続きまして、ページ割についてご説明をさせていただきますので、同じフォルダの中のページ割（第77号）をお開きください。

では、こちらから1ページ目から順に説明をさせていただきます。前回の11月号である第73号を参考にしてつくらせていただいたんですが、表紙が榛原中学校のほうへ依頼をしております。

2、3ページと11月定例会の報告になります。

4ページが補正予算連合審査会のページ、5ページが議案一覧、11月定例会のものになります。

6ページから15ページが、今回10名の議員さんより一般質問が出ましたので、各ページに割り振りました。

16ページから19ページが特集ページになるんですが、こちらは後で皆さんでお決めいただければと思うんですが、今回やった主な行事として、議会報告会と、あと市民会議等がございます。

20ページで、編集後記を谷口委員に今回はお願いをさせていただきまして、あと記事が一つ半ページ分乗るような形になります。

なので、皆さんのほうで特集ページの4.5ページ分考えていただければと思うのですが、今回11月定例会、内容とか質疑が少なかった関係で、総括質疑もなかったのも、今2ページ取ってあるんですが、もしかしたら1ページで収まってしまう可能性もございます。最終日になるまで、ここがどうなるかが分からないのですが、現状5.5ページを考えていただければ、11月定例会が1ページになった場合でも、記事は足りません。

#### ○議会広報特別委員長（種茂和男君）

案としてお願いしたいんですけど、事務局案としてはどんなものがある。

#### ○事務局書記（八木裕介君）

事務局の案としましては、議会報告会のほう見開きで2ページ取りまして、市民会議で1ページ、今ここに所管事務調査事項と記載をさせていただいているんですが、総務の所管事務調査事項というのが前回出したときに、職住近接のものと農業振興のものを同時に出示していますので、今回は変わらないです。文教のほうも、1回区切りはついたんですが、もう一度同じ所管事務調査事項ということで、内容としては変わらないので、前々回、令和4年のときに同じような状況で、総務は変わらず文教がもう一回引き続きというような形のときには、特に記事にはしていなかったのも、今回はしなくて、ほかのものでもいいかなとは僕は思います。

なので、今この18ページにあるところの所管事務調査事項というのを、議会報告会で今回高校ともやりますので、そこで1ページ取っても、今回議会報告会いろいろ力を入れてやっているとありますので、よいかなどは思います。

#### ○議会広報特別委員長（種茂和男君）

木村委員。

#### ○（木村正利君）

文教のほうしか分からないんですが、高校と違って。総務のほうは特になんか、所管事務のこと。

#### ○（松下定弘君）

市民会議というのが、まだ案だけど、決まっていないところなので、前回と同じ部分しか書けないので。

#### ○議会広報特別委員長（種茂和男君）

あと、事務局のほうでは、ほかのページ埋めとしての19ページのほう。

#### ○事務局書記（八木裕介君）

今、4ページ分お決めいただいたかと思います。議会報告会が2ページ、高校との議会報告会で1ページ、市民会議、移住者と総務がやりましたのでそれで1ページで、今4ページ分あります。20ページの裏面の上半分の記事と、あと多分11月定例会が1ページに削れますので、あと1ページ分余ります。なので、1.5ページ分余りますので、今決めてもいいですし、次回までにページ構成は決定すればいいと思いますので、ここで仮で案で何か議員勉強会であったり議員研修会のほうを入れさせていただいていますので、何かここで次回までにお決めいただくでもよいかと思います。

**○議会広報特別委員長（種茂和男君）**

何かこの中で、皆さん主だってこれがというものがありませんでしたら、今言っていたければ。榛原総合病院は入れるんだよね。

**○（石山和生君）**

私は特段これが絶対というのはないんですけど、1ページと0.5ということなので、同じ1ページを同じコーナーにするんだとしたら、議員勉強会で二つ、浜岡原発と榛原総合病院にしてもいいかなとは思いますが、ほかの案でも僕は構わないです。

**○議会広報特別委員長（種茂和男君）**

議員勉強会とね。

ほかご意見は。あと、そんなご意見があったので、事務局でバランスよく埋まるようでしたら、調整していただければ。

**○事務局書記（八木裕介君）**

では、余る1ページにつきましては、議員勉強会で1ページ分取らせていただきまして、裏面の部分については、恐らく前回、6月のときの防災訓練が中止になってしまった関係で、防災訓練の記事が最近なかったと思うので、もしよかったらこの防災訓練の記事、たしか前回やったときには載せていたので、今回も載せるようにしようかなと考えておりますので、裏面の上部は議会防災訓練でいこうかなと考えております。

**○議会広報特別委員長（種茂和男君）**

いいですか。

[「異議なし」と言う者あり]

**○議会広報特別委員長（種茂和男君）**

それをお願いします。

木村委員。

**○（木村正利君）**

さっき素通りしちゃって申し訳ありません。私のほうから、スケジュールのところで、来年の年明け7日に議会運営委員会があるじゃないですか。逆に議会運営委員会があつて、また翌日が議会広報特別委員会のスケジュールになってるんですが、参加数されている方もいるので、時間的な中で、僕らがそっちへ合わせたほうがという感じはするんですが、そこら辺、委員長。

**○議会広報特別委員長（種茂和男君）**

私的には問題ないですけど、ほかの2人以外の4人が、当然2人は出ているので、8日を7日にしたらどうですかということ。

なので、あと副委員長と。いいですか。

では、悪いけど8日を7日、議運が終わり次第ということで。事務局のほうはよろしいですかね。7日は結構多い。1時間ぐらい。10時ぐらいで終わり次第ということで、基本的に10時ということにして。

事務局。

#### ○事務局書記（八木裕介君）

では、1月8日の広報を1月7日にするというので、仮で10時スタートで、もし議運が早く終わった場合には、集まり次第という形で開催をさせていただければと思います。

#### ○議会広報特別委員長（種茂和男君）

よろしいですか。

---

## 2 事件 （2） 牧之原市議会だより「かけはし」紙面のリニューアルについて

#### ○議会広報特別委員長（種茂和男君）

そんな具合で、議題としては、あとかけはしの裏面のリニューアルと、前回の委員会が出た、切り抜き写真をいろいろ使用したりとか、委員長のコメントを重視するとか、一般質問記事の写真の使い方の検討とか、市民の登場するページをつくとか、以下の事項の委員会において、表紙写真の全面写真化、議員紹介ページをつくることの検討を行うとか、そういったことを考えていきたいと思っております。

事務局。

#### ○事務局書記（八木裕介君）

紙面のリニューアルについて、ちょっとご検討いただきたい点がございますので、フォルダ内の紙面リニューアルについてをご覧ください。

前回の議会だよりの第76号の5回目の委員会が出た意見になるかと思うんですが、これだけはやっていこうというもののなかで、記事内の写真を切り抜き写真にするものであったり、委員長のコメントを吹き出しとして委員長の顔を載せるものと、あとその他の意見ということで出た意見をまとめさせていただきました。

今回協議していただきたいものとして、リニューアルするものとして、決定した意見について、どう議会だよりのほうに反映していくかというものを考えていきたいと思っております。基本的に、議会だよりの中で写真を使用している箇所というものが、表紙、定例会報告、予算決算であったり補正予算、一般質問とあと特集記事、裏面の特集記事ぐらいになるかと思えます。基本的に写真の使い方として、会議の様子を撮ることが多いので、なかなか切り抜く場合にどのような写真を切り抜くかというものを考えていただければと思います。

もう一点、委員長のコメントを吹き出しとし、委員長の顔を載せるというような形で、委員長コメントを重視するというものがあるんですが、1ページめくっていただきますと、かけはし第76号のときの文教の視察研修の報告になるんですが、この左下に委員長コメントがあるので、仮でイラストで切り抜きにして吹き出しにした場合、このような形になるんですが、大きく割りを取ってしまうので、全体で見たときに書ける文字数が減ってしまうので、そこを皆さんがどう取るかというような形で、ご検討いただければと思います。

#### ○（谷口恵世君）

例えば、委員長をここに載せるというのはやらないにしても、文教厚生委員会と書いてあるときに、例えば顔の切り抜き写真を、委員のメンバー全員の写真を並べるとか。議会報告会のときも、各委員会のメンバーの名前は言うんだけど、あのときも市民の皆さんが来ていて、一回全員、そのとき文教厚生委員会ですと言ったら、その人たちは立って本当は一礼するとか、そういう見える化というのをしていかないと、委員会って全然周知されていないと思うので、そういうのは、もしこういうところ入れられるなら、視察研修だけじゃなくて、文教厚生委員会となったときにメンバーがぱっと見て分かるようなものは必要なんじゃないかなと思います。

#### ○議会広報特別委員長（種茂和男君）

木村委員。

#### ○（木村正利君）

以前、石山委員のほうから提案されていた、例えば一番下のページじゃないけど、余白のところに、小さくても議員紹介みたいなものがいつもこういって、前にお話されてたと思うんですけど、新しいリニューアルしたときに、余白部分の使い方、例えば今はページがセンタリングされてるんですけど、それを右端とか左端にして、そこのところへ、同じスペースに、小さくても、今、谷口委員がおっしゃられたように、そういう形の議員紹介みたいなものをしていったらというふうに思うんですが、いかがでしょうか。

石山委員。

#### ○（石山和生君）

前回の話で、多分議員紹介は難しいという結論になったと思っているので、今回に関しては、できないんじゃないかなという話になったというのと、ただ、将来的にはそういう活動もぜひやってくださいねと、次の広報の人たちに何か残そうという話でまとまったと思うんですけど。

となると、そのときに下を使いたいかもしれないから、下を使われてしまうと困るかなと思いましたというのと、今、谷口委員のものはすごくいいなと思いました。単純にこういう委員会で、例えば総務建設委員会とか書いてあったら、必ずここに、スペースの余白が必要だけど、ここに顔と名前くらいは並べるのは全然難しくないし、小さくなったっていいし、別に。顔が見えるとちょっと近く感じるので、それはいいと思いました。

あと、自分の意見もいいですか。

一般質問もこういう感じでがんと顔が大きく、これはちょっとやり過ぎかもしれないですけど、要するにこれは切り抜きで、訴えているような感じのもので、こっちにどんどん返ってくるみたいな。こんな大きくななくてもいいかもしれないけど、迫力があるような、上半身とか。別にこの上に文字が重なってしまったっていいので。とにかく見栄えが、迫力があるような感じ。こうよりは、ぼんと、見栄えとして、読もうかなと思うような、ドデカイ写真、切り抜きだったら場所を取らないので、いいかななんて。

#### ○議会広報特別委員長（種茂和男君）

そこら辺の解釈、雑誌的にすごくいいんですけど、業者と相談しないと、業者に写真の中の切り抜き文字というと、写真の濃度の関係で、文字の選出も白抜きなのか何色を入れるのか、そういうのもかなり縛りが増えてくる可能性があるんで、ある程度、専門知識がないとやりにくい部分も出てくるのかなと、私なりには思います。

○（石山和生君）

今はアイデアベースなので。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

すごく迫力があっていいなと思います。

○（谷口恵世君）

次のほうで。何でかというのと、全員の例えば写真がほしくなったら、動きを出すような。だけど、今言っていた、ぱっぱと載せるのは別にふだんある写真をただ載せるだけだから、それは多分ほかの議員さんも抵抗は全くないと思うんです。顔写真が載って、名前が載ることは、むしろうれしいと思うんだけど。

ただし、一般質問のところは、写真をもし例えば動きとか、全身を載せるとか、変えるとなると、ちょっと今は多分難しい。だから次のときにやったらいいかなと。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

そういうふうに考えているというのだけは。

○（谷口恵世君）

次のときは。

○（石山和生君）

切り抜いて、しっかり動きを見せようというのが趣旨なわけじゃないですか。議員紹介というのは、確かにハードルは高いと思いますけど、この写真を撮り直すくらいは、別にやってもらえると思うし、こんなドデカくするというの一旦置いておいて、一般質問の写真の切り抜いてやっていこうというのは、そういう話だったと認識しているんですけど、それはそうじゃないですか。皆さんの意見。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

向きだとか、そういうものも自由にするのか。

○（石山和生君）

それは自由にはしないほうがいいと思いますよ。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

なので、どっち向き、両向きも撮るなりね。

○（石山和生君）

それはそちらで議論する話だと思いますけど。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

なので、ページ割のときに、そのどっちかというのを使えばいい。

○（石山和生君）

取りあえず、今回はアイデア出しということなので、アイデアを出させてもらっていますけど。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

木村委員。

○（木村正利君）

委員長は、こういう広報紙とか専門なものですから、今そういうご意見が出たことの中で、アイデアを集約するというのは私も賛成で、ある程度、引継ぎの中では出していかないと、これだからこうではということではなくて、アイデアを出していくことは必要だと

思います。また、今ちょっと委員長がおっしゃられていたように、お金がかかるというところ、正直言って、物価高騰を踏まえたときに、議会広報特別委員会の来年度予算というのは大丈夫なんですか。ちょっとそれを事務局に聞きたい。

**○事務局書記（八木裕介君）**

恐らく当初予算のときに説明があったかと思うのですが、各4回プラス臨時号ということで予算を計上してしまっていて、各20ページ、来年度分ということで見積りもいただいて、額をベースに計上していますので、費用は押さえてあります。

**○（木村正利君）**

いろんな意味で、当初予算の見積りと、業者負担をさせてしまうということがいろいろ難しい状況がここ半年ぐらいで、いろんなものが上がっているという中で、私たちが求めているところの、精度ってあるじゃないですか。今おっしゃられたように、例えばレイアウトを変えるよとか、そういった意見も来年度中に、このページでこうだよという中で、そこら辺も伝えておかないと、今はいいよねというのが、半年、人件費を含めた高騰というのは物すごいスピードで上がっているの、安いからできませんよという意見になってしまうと私は心配するんですけど、そこら辺の、多少こちらの委員会としてリニューアルをかけるところが予算の中に反映されているということ、私心配しているだけなので、そこら辺はいかがでしょうか。

**○議会広報特別委員長（種茂和男君）**

事務局。

**○事務局書記（八木裕介君）**

予算については、年度当初に年間で契約をしてしまうものになります。契約の単価というのをページ単価で取っている20ページで取っている中の制度については、上下したとしても、ページで取っているの、そこは上がり一定になると思うので、あとは業者ができるか、できないかはそのときのレイアウトの内容にはよるんですけども、恐らく業者ができるかできないか次第にはなります。

**○議会広報特別委員長（種茂和男君）**

お金さえ出せば何でもできます。はっきり言って。ただ、予算が決められて、どうだという縛りの中で、それと日程、時間とお金をかければできないものは印刷に関してはないと思うので。

木村委員。

**○（木村正利君）**

ごめんなさい、私が言っているのは、今ここで委員会ですと来て、いろんなものをリニューアルという意味が、業者さんにそういったことを、例えば吹き出しとか、今、石山委員がおっしゃられたように、こういう形のところを、ある程度、事務局が負担してしまっているのでは、やっぱりいいものはできない中で、そこら辺をできるだけ負担を少なくして、業者委託するんだったら、それなりの今の現状でいったらこうだけれども、こういったバージョンでいったらこうだよというのはやっていかないと大変だと思うから、今お話しさせていただいているんですけど、年度当初に決めるというのはいいんですけど、それをこの委員会としての趣旨が、予算の中でかかるものはかかると私は思っているの、業者負担させるじゃなくて、そういったものも見積り依頼、例えばA社が駄目だったら、B社、

C社を取って、平均的なものをしておかないと、長くやっているから単独のものではありませんけれども、かなり安い金額で負担をかけてしまっているかなと。

だから、この業者ができなくなったら、ほかのところとなってしまうのは怖いので、そういったことの、広報のペーパーのところ、それだったらウェブに持っていかないとか、次の課題を今やっておかないかと思って、今予算の話を見せていただいております。

**○議会広報特別委員長（種茂和男君）**

事務局。

**○事務局書記（中田 綾君）**

令和7年度の当初予算の最初の始まりが10月頃になりまして、11月には査定が始まるというような状況で、10月頃に広報のリニューアルについて、予算がかかるものについてというところが全く決まっておらなかったものですから、令和7年度の予算につきましては、例年どおり年間4回プラス改選のときに出している臨時号のみの予算で計上はさせていただいておりますけれども、また広報の委員会のほうで、どうしてもリニューアルにかかる予算が必要だということでご協議があった場合には、もちろん議長や議会運営委員会のほうでご相談いただいて、補正予算をかけていくというようなことは可能かなとは思いますが。

**○議会広報特別委員長（種茂和男君）**

それこそ、今は印刷の技術革新というのがかなり進んでいて、ラスクルだ、ああいうところがあって、要するに製作さえちゃんとできていれば、ほとんど料金が、今やっている業者よりかなり、製作さえできれば、かなり違ってくると思うけど、責任所在が、地域の逆に印刷会社と違って明確でないというのは怖いんですけど、料金的にはあらゆるところで変動が起きているのが現状です。

この広報に関して、1ページに写真何点という縛りで見積もっている。全然関係なし。

**○事務局書記（八木裕介君）**

特にそういう縛りは設けていません。

**○議会広報特別委員長（種茂和男君）**

そうすれば、昔だと1ページに何点だとか、原稿ができて、ここをどうぞというのは、製作段階は小山がやっている、こっちで渡して。

**○事務局書記（八木裕介君）**

基本的にはこちらでワードで編集をして写真とかを入れ込んで、最終的にUSBにそのデータを落とし込んで、原稿と一緒に写真データも別個に分けて、1回小山に持って行って、そこでゲラをつくっていただいております。

**○議会広報特別委員長（種茂和男君）**

一番お金がかかる部分は事務局でやっているという。そうなの。じゃあもっと安くできるということだ。

製作段階で、この形というところまでは事務局でやってしまっている。すごいね。

以上でよろしいですか。

石山委員。

**○（石山和生君）**

これはどういうスケジュールで。今アイデア出しをしたと思うんですけど、アイデア出しから収束させるのが次回でみたいな、そんな感じで順調に進んでいくという感じで合っ

ていますか。

**○議会広報特別委員長（種茂和男君）**

第77号から若干変えていくということになっているものですから、その内容の。

**○（石山和生君）**

今回が第77号か。

**○議会広報特別委員長（種茂和男君）**

第77号なので。なので、これに対して、この部分はこういう写真を使うよとか、文字を吹き出しを使うよとか、そこら辺をある程度ページごとに、事務局のほうへ言っておかないと、割付とワードの打ち出しとか、事務局でやっているみたいなものですから、そこら辺の変える部分のは。

石山委員。

**○（石山和生君）**

第77号からというのは、以前決まったんでしたっけ。

**○議会広報特別委員長（種茂和男君）**

前回。

**○（石山和生君）**

大丈夫、スケジュール的に。

**○議会広報特別委員長（種茂和男君）**

事務局。

**○事務局書記（八木裕介君）**

リニューアルするにしても、まずページができてこないか、どの部分をどうリニューアルするかというのが定まってこないかと思imasuので、第77号の際に原稿をつくり次第で、ここをこう変えていくというやり方でも僕はいいかなとは思います。

**○議会広報特別委員長（種茂和男君）**

石山委員。

**○（石山和生君）**

例えば、仮に議論が必要なアイデアが出たとしますよね。例えば、A案、B案、C案と出て、A案とB案はずっと、これは確かにやったほうがいいねとなるとするじゃないですか。C案はちょっと議論が必要だとするじゃないですか。第77号までにA案、B案の議論は終わっていた場合は、第77号にA案、B案は入れる。第78号には、C案が仮に議論した結果いいねとなったら、第78号でも変えるという形で、随時変えていくというスタイルなのか、それとも、A B C全部まとまってから一気にリニューアルしていく。僕はどちらかというの一気に、リニューアルというから一気に変えるものかなと思っていただけ、随時議論が収束した段階で変えていくというスタイルという認識でいいのかどうかを確認したいです。

**○議会広報特別委員長（種茂和男君）**

今、石山委員のほうから、そのような意見が出ましたけど、その都度、変革しながら何回か見て、まとめたものを一発でどんとそのうちやるのか、一、二回はちょこちょこ変えながらしていくのか、どういう方向性でやったほうがいいのか。

どうですか、ご意見。

**○（木村正利君）**

今、石山委員がおっしゃっていることと、ある程度まとめていくと、私もいきなりこのスケジュールの中で最終的にというのは、なかなか皆さん大変かなど。今日はそこのリニューアルの確認が第77号から取れたという中で、次回20日ですよ。20日のときに、今のところの中でここだよというのを、次回に向けて出していくという意見。

だから今、どういうふうに、リニューアルというのでも、それぞれみんなばらばらだと思っただけです。だから、そのために思っていること、ここはできるねという前提、また今、正直言って、この内容構成については、事務局が負担しているよということも今期については分かっているから、そこのときにできる、どういうふうに変えられるかというのを、各議員がどうやろうというところを持ち合わせて、20日ぐらいまでに考えてくるというようなことはいかがでしょうかということなんです。

谷口委員。

**○（谷口恵世君）**

多分今、石山委員が言っているのは、ぱっとリニューアルするのか、今みたいにちょこちょこやっていくかどっちですかということだと思っただけなんですけど、私は今の意見に対しては、ぱっとリニューアルじゃなくても、事務局のほうでできたら、ここここを変えるみたいなリニューアル方法でも、大きなリニューアルは結局は議長に諮らないとできないというので今進んではきているので、ちょこちょこ変える分には、これとこれとこれを決めてリニューアルというのを、ちょこちょこリニューアルしていてもいいのかなというほう、私はそっちのほうがいいかなとは思っています。

**○議会広報特別委員長（種茂和男君）**

石山委員。

**○（石山和生君）**

その場合に、これは事務局に聞きたいんですけど、ちょこちょこやる場合は、ちょこちょこの重たさが程度にもよると思うんですけど、例えばさっき言った、委員会が出てくるときには切り抜きの顔を出すというのは、全く全協にかけないでできる範囲なのかとか、そこら辺の差がよくは、感覚なのか。結局小さくても諮らなければいけないんだとしたら、毎回諮るのは大変だから一気にやってしまったほうがいい気もするけど、それが諮らなくてもいいレベルというのが、どうやって決められるのかは分からないけど、そこの判断は、いやこれは諮るべきだ、これは諮らなくてもいいというのは議長が判断するという、そういう認識でいたらいいんですかね。

**○議会広報特別委員長（種茂和男君）**

細かい、文字を変えるだ、吹き出しだ、ある程度はこの前ので通ってしまって、ちょこちょこのほうは一々議長に諮らなくても、委員会で決めてという報告がしてあるので。

**○（石山和生君）**

例えば、さっき言っていた、委員会が出るたびに顔写真と名前とかを載せるというアイデアは、別に全協を通さなくてもいけるだろうというのが。

**○議会広報特別委員長（種茂和男君）**

一応、全員の議員を載せるとなると、一応議運のほうへそれは言わなければね。こうやって皆さんの載せますよという報告だけはちゃんとしないとね。

○（石山和生君）

報告だけで済むということですか。許可制みたいな。

○（谷口恵世君）

撮り直してとか、あえて何かやるというのであれば聞かなければいけないけど、今個人の写真が既存であるじゃないですか、それを載せるときは、一応報告でいいんじゃないかという話。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

今度載せるというので、一度撮りたいのは、正面写真を撮っておかないと、みんな横向きだよ。

○（石山和生君）

正面写真は撮らないといけないから。

○（谷口恵世君）

それはあるから。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

ある、正面は。

○（谷口恵世君）

正面もあるじゃないですか。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

ある、正面。みんな横向いているのじゃない。

○（石山和生君）

LINE WORKSとかの画面にある。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

そうか。

○（谷口恵世君）

あえてまた撮るとかというのと、大変けど、あるものを使うという形なら報告だけでいい。しかも全員のところは委員会としてのものも。

○（石山和生君）

分かりました。随時なら随時で僕もいいと思うんですけど、全協に諮るべき事案、ちょっと大きめにリニューアルぱっとしたい場合は、それも随時全協に諮ってやっていくということですか。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

とにかく引かかるのは、表紙の全面写真と、どういうふうに取り扱うというのが最大の問題で、ちょこちょこやるとか、変えるとか、写真をあれとするのは、一応認識の中では許可が取れてるという判断であります。ただ、表紙に関しての全面写真というのだけが一番課題になってることであって。

○（石山和生君）

とはいえ、一般質問で例えば、さっきみたいな斬新な案を出したら、ストップがかかる可能性はありますよねというところはやっぱりある気がする。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

ケースバイケースで取っていきたいと思っています。

○（石山和生君）

私が言ったのは、今回やったから終わりというよりは、議論を続けて、随時、議論が済んで、先にやれるものは先にやる。話として収まった時点で、全協に諮るべきだったら諮るみたいなことをやっていきますよねという。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

それは当然やっていかないとね。

○（石山和生君）

それで大丈夫です。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

分かりました。

---

3 その他

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

大体そんなところでよろしいですか。

〔「異議なし」と言う者あり〕

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

副委員長のほうから何かご意見はありますか。

○（絹村智昭君）

特にないです。

○議会広報特別委員長（種茂和男君）

事務局のほうもよろしいですか。

では、本日の議会広報特別委員会はこれで終了したいと思います。ありがとうございました。

〔午前 11時07分 閉会〕